夕刊
磐城新聞
二月十二日發行
定價 一ヶ月 金六拾五錢 一部 金五錢
發行所 磐城新聞合資會社
(日曜祭日翌日休刊)
振替東京一〇八ノ五六五番

破魔弓について

橋本生

一

玩具本來の使命は幼小童兒の玩びの對象となる事にある。故に玩具が兒童を對象として存在する限りそれが如何に發展進步しても、華美に流れても畢竟玩具に過ぎないのであるが、反對に假令素朴簡素な姿態を多分に保留してゐても一度兒童の玩びの對象から離れてしまへば、それは既に玩具の領域を越ゐたものと云はなければならない。かゝる解釋は勿論玩具即ち『おもちや』の學義から出發してそれを最も狹義に論判してゐる譯であるが、玩具はその歷史の古さに從つて、その發展盛衰の間に自身の目的を消亡變改してしまふ者がある。例へば、三月の雛人形、五月の武者人形の如きものであるが、之等は創生に於ては共に兒童の玩物として考案されたのであつたが、次第に華美、高尚を競ふて遂に名譽、榮盛の代象となり家格の表象に迄昇格して玩具の域を離れてしまつたのである。その反對の經過をたどつたものにスゴロクがある。これは、初めは貴紳の間に行はれた一つの競技であつたのが普及と同時に兒童の遊びに迄翻化したのであつた

私が以下に些か云爲しやうとする破魔弓もその長い歷史の間に玩具として創生しながら縁起物の域迄鰻上りに發展してしまつたものである

破魔弓は現在ではその製作も頒布も共に殆地を拂つてしまつて、京都府男山の岩淸水八幡宮に於て正月縁起に賣り出すものが主として高名を賣つてゐる位のものであるが、創生時に於ては單に『はま弓』の名のもとに童玩としての目的をのみ持つたものである。それが何時しか名稱も『破魔弓』と縁起を追ふて稱呼されるに至り、神棚に奉せられるに至つたのである

句帳から

蜜柑むくや西日さし來る汽車の窓　薮子
炭馬の鈴をならして下り來る　日出雄
除隊記念の大杯受けし年酒かな　青喬
瀬戸火鉢拭けば湯氣立つふきんかな、
國勢調査記念と彫りし火鉢かな

今日の訓へ

哲名 山人

文章や詩歌は思想の表現で、また、その人格の表はれともいはれる、その表現の如何に容易でないかは『ニイチエ』や『トルストイ』もこれを曲物といつてゐる殊に感激なくして創作するのは、恰も眠らずして夢をみるやうなものである

紅梅

島田忠夫

西國旅吟のうち

○背戸山は枯れし木原と見てゐしに木ごもり咲ける紅梅の花
○春はやき國にもあるか枯山の梅を濡らして雨おほく降る
○櫟生は枯葉鳴る音さむけれど山につく如す梅さはに咲く
○國ぶりの山に階なす墓どころ雀ごもり鳴くうぐひすの聲きこゆ
○冬にして凍み咲く梅のにほはめや澤にくだれば芹うすあをむ
○風たちて山の枯葉のまひしかば光りつつとぶ峽の冬田を

怪しき心よ

大竹秋平

ヴイクルトル、ユーゴーは云つた
世にも怪しきものは海なり
海より怪しきものは空なり
空より怪しきものは人の心なり
怪しき海よ？
或る時は波靜かに船をすべる如くに走らせ
或時は怒濤逆卷いて大船をくつがへす
怪しき空よ？
或時は蒼く澄みて風なく雨なく
陽光うららかに
或時はかき曇りて
暴風を一界に見舞はしむ
されど！
されど、常々ユーゴーは云つた如く
其の海、其の空にもまさりて
怪しきものは人の心なり
或時は樂しく、或る時は悲しく
或時は明るく、或時は暗く
或時は浮かれ、或時は沈む
善を行ふも心の氣樂さで有る
惡を行ふも心の迷めきで有る
向上するも心の迷めきである
墮落するのも心の迷めきで有る
あゝ心よ！願はくば
何時も樂しく、いつも明るく
何時も沈まないであれ
そうしてみぞ
善を善を行ふことを命せよ！
すべての心に、そうして
また心よ！
向上の道を辿ることを命せよ
すべての人の心に

賀志賀翁被有栖川宮紀念厚生會選奬

珠雲 小野務平

多年啓沃事屏管
四野桿黎皆力耕
今日果然逢選奬
一門榮又一郷榮

2月13日

△三重縣の國幣中社敢國神社で舞初祭△一『續日本紀』完成献上さる(延暦十六)△蕃書調所江戸九段下に開設さる(安政三)△三條實美郷等の五卿長州より筑前に移る(元治八)△樺太に開拓使を置く(明治三)△一般平民に必ず苗氏を附けさす(明治八)

講談 妖刀流轉(えうとうるてん) (11)

邑井貞吉演　佐々木今朝吉畫

權次の最期 (三)

權『嘘か本當かそんな事はどうでもいゝが、身受になつた御前が、又何うして今時分こんな所へ出て來たんだ』

紋『それがねェお前さん、人の一心は通じるものだよ今日はお前良人が親類に不幸があつてお通夜に行き私一人留守をするのは淋しいから、丁度幸ひ、まだ信濃屋に少し用もありますからといつてネ、一晩だけ暇を貰つて信濃屋へ歸つて來たんだよ、明日の朝になれば良人が私を迎ひに來る事になつてるのさ』

權『御親切な御亭主を持つて、お紋さんもお仕合せだネエ』

紋『アレ又あんな事をいふよ、いや味どころか私は一生懸命、何うか今夜の中に何とか都合をして、お前の處へ知らせを出し度いと思つてゐたら、お前が先刻格子先へ來た樣子、マア何てわいゝ都合なんだらうと私は飛立つような思ひをしたが、モウ素人になつた私だから、むやみに店へは出られもしない、信濃屋の家だつて、お金を使つて身受をした良人に義理が立たないから私に間違ひがあつてはならないと目つ張り子で番をしてゐるんだろ私は氣が氣ぢやアなかつたよ、それでも今丁度店が忙しくなつてゴタ〜してゐる隙を見たから急いで裏から出て來たんだがこうして此處で逢へるといふのも本當に盡きせぬ縁なんだね』

權『フーム、素人になつたお前が今更手管も要るめからマサカそれは嘘ぢやあなからう』

紋『何嘘でをいふものかえ兎に角往來ぢや話も出來ない何處か人目のない處へ行かうぢやあないかごん次さん』

急に風が變つたから權次は今までの不平も何處へやらゾク〜する程嬉しくなりまして

權『そうかそいつは有難え兎に角何處かへ上るとしやう、先刻の酒の飲み直しだ！』

紋『何んだネエ權次さん、私のお酌では氣に入るまい私なんぞを背負ひ込んだ馬鹿野郎は、一生涯の荷物で本當の醉興なんだからネエ！』

權『アレッ、あれまでお前は聞いてゐたのか、こいつは大縮尻だつたなア、あれはほんの行掛りぢやアねゑか、それはそうとお前の亭主てえのは、年は若いのかい、男か』

紋『アラいやだよ此人は妬いてるよ、よしてお呉れあんな人』

權『あんな人つたつて、身受をして自由にして呉れゝば恩人ぢやアねゑか』

もん『それも私に惚れてるからさ年は大して取つてはゐないが、何うせお前土臭い本念仁だアネ、酒落をいつたつて通じるぢやアなしさ只おもんやおもんやつて可愛がつて呉れるだけが取柄だよ』

權『チエッ、御馳走樣だア』

紋『人間は甘いけれど、おとなしい好人物だからネエ！』

ん『モウ澤山だいゝ加減にしないか』

もん『フン先刻の敵討だよだけれどネエ權次さん、私一生あんな草の中で埋れ木になるかと思ふと、本當にクサ〜するよ』

權『そんな事を云つたつて仕方がねえや』

もん『仕方がねゑと云つて澄ましてゐるのはそりやお前薄情といふものだ、それに就ていろ〜相談があるのだから、早く何處かへ行くとしよう、今夜は命の洗濯だからネ』

酷い奴があるもんで、女郎と般若のごん次これから怪しげな飲み屋へ上つて何やら密談しましたが、どうせろくな相談をしたのぢやありません

酒とマヅイ
おでんの榮ちやん
平町田町花ノ里
電話三三番

ベニヤ板＝再新品入荷
謝恩奉仕 元價提供
前回ノ謝恩デーニテノ皆樣ノ御好評ニ酬ヒ左記期間中ニ限リ
二月五日ヨリ二月十五日迄
良品廉賣(確カ御期待ニ添フ)
銘木、床柱、天井板、建築材木はすべて一式
一度御來店ヲ御待チ申居リマス。
(万) 織田材木商店
福島縣平町紺屋町
電話(平)四六〇番

産科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平町田町(元合津醫院跡)
電話五五九番

開店記念大賣出し
平町に羅紗店生る
正月元日、二日、三日、開
背廣 表地 八圓 附屬品 六圓 工料 六圓 拾九圓
此値段にて御假縫付御仕立入念責任付御洋服が出來上ります。
大𧘕 表地 十二圓 附屬品 六圓 工料 六圓 廿四圓
モーニング 表地三揃 二十圓 附屬品 十圓 工料 十圓 四拾圓
當日は是非御來店下さいまして御買上げを賜り度御願ひ申上げます。
平町一丁目
内外毛織 昭和羅紗店
責任者 福永滸司 高野政久

電話開通
皆樣のスタヂオ三光館へ電話開通いたしました。御寫眞の御用には何卒御利用願ます。
電話五四一番(ゴシイキ)
電氣採光の完全な設備もありますから夜間撮影出來ます出張撮影には是非御利用願ます。
鐵道省指定 各學校御用
平町役場際
三光館スタヂオ

はねつぎ
桑原柔道整骨院
平町公園下
電話六七四
神經痛 リウマチスニ オレンヂパスタ

新築落成
山田屋旅館
植田町 電話八番
藝妓屋 山田家 電話八番
喜久榮 小舟 國助 のんき 小鈴 君香
一太郎 五郎 今子 愛子 つぼみ ○丸

東京大相撲 男女の川
花形揃の一行…二百名
來る二月廿五日(舊正月十五日)一日限り
木戸大人金一圓、同小人金四十錢
尚當日お早い方二千名に限り横綱男女の川關より紅白の力餅を差上げます。
昭和十二年二月
植田(下山田甚次兵衞、下山田武光、秋山市造、成瀬巳三、西條嘉藏)
建元(下山田健造、箱崎義一)

謝恩奉仕大特賣
開業貳拾週年記念抽籤附
お買上げ壹圓毎に抽籤券壹本添付！
特賣期間 即日ヨリ 二月十五日マデ(舊正月五日)
抽籤日 昭和十二年二月十七日
當籤發表 同年二月十八日
…景品の數々…空籤なし…
一等―金側八型腕時計、二等―ポータブル蓄音器、三等―美麗置時計、四等―高級萬年筆、五等―二色シャープペンシル、六等―懐中、腕時計丸型硝子入替券
時計、眼鏡、貴金屬、萬年筆
平町二丁目
根本時計店
電話六〇七番

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 體温器 寒暖計
開内藥局
電話四〇番

開業 大衆食堂
是非御利用下さい。幾分御便宜かと存じます。
晝食に、晩餐に、御來店を！
家庭食

カレーライス お新香・お吸物付	25
ハヤシライス お新香・お吸物付	30
チキンライス お新香・お吸物付	30
カツライス お新香・お吸物付	35
親子丼 お新香・お吸物付	25
特なべ料理 お新香	30
京樂ランチ	50

大衆食堂京樂

外科一般、泌尿器科
內臟外科、皮黴科
平町鎌田町
(病室完備) 白土醫院
電二七九番
看護婦及見習看護婦募集

諸機械製作販賣
合名會社 田邊製作所
平白銀町(驛前通)
電話二九四番
機械切各種歯車製作

各方面の功勞を讃へ
梅薫る日に晴の表彰
光榮に輝く個人＝團体

梅薫る紀元節に本縣では恒例によつて各種功勞、永年勤續者の功績を顯揚し、午前十時縣廳會議室に於て表彰式を擧行、伊藤知事から表彰狀並に記念品を授與してその功を讃へた、晴れて表彰の光榮に浴したのは個人七十四名、團体二十七に達したが中本郡關係の分左の如し

個人表彰

○教育
上遠野青年學校教諭吉田太郎（置時計一個）
△青年學校指導員＝飯野村芳賀林次　澤渡村齋藤次男　磐崎村瀧義勝（功勞章）
○永年勤續警察官
△二十二年巡査部長（平）原田七郎　△二十一年巡査（植田）　堀川留松（金一封）
○徵稅事務
△豊間村助役山野邊茂五郎（銀杯一個）

團体表彰

○道路愛護團体
△鹿島村（金一封）
鹿島道路愛護團は去る昭和六年創設、以來志賀村長等が眞つ先きとなり小學兒童並に各戸一名宛出動して毎月一回村内の道路修理等に奉仕的活動を續けてゐる模範團体である
△司法省所管＝平自營會
△文部省所管＝財團法人磐城訓盲院
された
△平窪村第一　酢釜　△澤渡村下市萱堀ノ内　△三阪村中　三坂中　中三坂四　下三坂下同中　△磐崎村大石　小野田商業　源内　△江名町中田町上神白第二　中の作第四　中の作第五二　△勿來町小島　△小名濱沖見一組　△夏井村山崎第一　菅波第一　△泉村瀧尻第一　△下小川村前原　△赤井村相立　△川部村前ノ内　△江名町南町第二　第三　第四　新町　昭和　北町第二　第三　船元町　△湯本町第三十區

農村統計功勞者
鈴木村長と白土調査員

豊間村長鈴木藤治郎、川前村調査員白土廣衛の兩氏は多年本縣農林統計調査に從事し精勵恪勤農林統計の刷新改善に貢献しつゝある廉により山崎農相から鈴木村長は銀盃、白土氏は木盃を添へて表彰された

軍人後援會擴充功勞者

帝國軍人後援福島支會々勢擴充並に事業遂行上の功勞者として會長伊藤知事より表彰狀、感謝狀を授與された、郡下關係者左の如し
表彰狀（彰品贈呈）
△江名町長河野嘉藏　△平町長青沼銚太郎
感謝狀
△四倉町長新妻盛

健康保持者

健康保險被保險者で五ヶ年健康者を表彰、伊藤知事から表彰狀、記念品に青銅製花瓶を授與され、地方關係は山川健康保險課長が出張十五日平署でこれが授與式擧行
（石城郡）國井態吉　小賀坂百　永山武雄　渡邊春藏　齋藤松太郎　小野吉三郎　矢内保次　佐藤粂之助　四倉久朔　井上關太郎

江名隣保館
助成金交付さる

江名隣保館は恩賜財團慶福會の原田翁記念社會事業資金により二百圓の助成金を交付された

優良納稅組合

尚左記優良納稅組合が表彰

小名濱に職業紹介所
斡旋指導の圓滑を圖る

職業斡旋、出稼者指導の圓滑を圖り縣では更に縣下十ヶ町村に職業紹介所を新設する事となり本郡では小名濱町がその候補地に擧げられてゐる、尚これが新設に際し一ヶ所平均五百圓内外の補助金が交付される事になつてゐる

めじろ啼調會
役鳥入選決定

春玲會主催めじろ啼調大會は昨十一日平町田町白土謠曲稽古所に於て開催したが遠く水戸、久慈、龍ヶ崎等から迄一流大會の參加あり出品數實に六十餘點の參加あり出品數實に六十餘點、何れも堂々たる銘鳥で地方稀に見る豪華版的盛會を極めた審査の結果役鳥入選左の如し、

正綱横『日の出浦』水戸（谷川）　東横綱『綾錦』久慈（富永）　西横綱『糸櫻』平（白土）　東大關『大地の春』平（白土）　西大關『榮冠』平（草野）　東關脇『千代の譽』平（草野）　西關脇『雲右エ門』平（松本）　東小結『平錦』好間（中村）　西小結『友招』平（濱邊）

平日の三倍
平驛の乘降者

雨に祟られて出足がにぶつたと云ひけふ二日市の平驛乘降者は午前中丈けで平日の約三倍に上つた

滿洲國警士
菅原氏合格

錦村花の井警備歩兵伍長菅原昌人氏は此程福島聯隊區司令部で執行の滿洲國警士採用試驗に合格

四。倉。青。年。團。發。會。

四倉青年國發國式は既報の如く紀元節をトし午後一時より小學校講堂に於て開會、會長新妻盛、副會長菊池正一、豊田美孝の諸氏が就任、顧問及び幹事を會長より囑託した

聖德太子憲法講演

四倉町鶏鳴會では荒川龍門寺住職にて第四師團布教師である片岡正龍師を聘し明十三日より三日間に亘り小學校で毎日午後七時より聖德太子憲法十七條の講演會を開催する

待ち構へた賣出し
憎や悉皆雨に祟らる
書き入れ日に天公の惡戲

茲數日來町内の大小各商店が殆どハチ切れさうな緊張を以て待機の姿勢をとつて居た今舊二日の恒例大賣出しは本紙が屢に既往五年の統計までとつて只管その快晴を祈つた甲斐も無く前夜來の雨で昨春の雪降り以上に叩きつけられた、それでも火事騒ぎが木の頭となつて夜半零時頃から此の夜ならでは見られぬ深夜の買出しが展開され、舖道の下駄音高く響かせて傘の波が雨に更け行く全線の街燈に映ゆた、斯くして二時、三時人出は刻々に增して行つたが、寒さより遙かに相手の惡い雨丈けに人の出足を根本から鈍らせて了つた。重さうに俛だるる赤旗の微かなはためきも折角造つた臨時賣り場も濡るるが儘に委せ見るからに佗びしいものがある、さて賣上げにどう響くか、呪はしい天公の惡戲である

收用法適用一歩前で
鎌田山買收解決
工事漸く軌道に乘る

平－神谷間を一直線に結ぶ鎌田山開鑿工事は內務省で二十八名の土地を買收したが獨り宅地十三坪三合　田、畑山林一反七畝二十三歩を有する神谷村鎌田草野鑑松氏のみが交涉價格に應せぬので既報の如く土地收用法適用の告示までされたが青沼町長等の斡旋により此程漸く草野氏の讓步で圓滿に折合ひがついたので事務所では來る八月の竣功期を目指しドシ／＼工事を進める事となつた

三派合同素謠會

寶生、喜多、觀世三派合同の謠曲大會を來る二十一日午後一時から平鐵道倶樂部で開く、出演六十餘名、盛會を豫想されてゐる

藝。妓。料。理。屋。組。合。新。年。會。

平町藝妓屋同料理屋組合では明後十四日午後四時より住吉屋本店に於て新年宴會を催すと

好。間。村。會。

九日午前十時から開き十年度決算を承認した

初賣り直前に
昨夜の火事騒ぎ
二戸五棟全燒損害三萬圓

猫火鉢御用心

昨十一日夜十一時五十分頃平町大町古物商山田文一方倉庫内居住店員内藤七郎（三〇）方から發火、折惡しく全戸不在の爲發見の時期が遲れ、附近が氣づいた時は火勢が可なりに猛勢となつてゐたに加へ在庫品のコールタールに火が移つたおまけに之亦格納されてあつたカーバイトが猛烈な放水を浴びて俄然火勢を擴大し、瞬く間に隣家大和田印刷所大和田與兵衞氏方に延燒して殆ど類燒せしめ午後一時頃二戸五棟を燒き盡して鎮火した、損害約三萬圓に上つた

原因平署で取調べの結果同夜内藤夫婦が妻の實家である飯野村谷川瀬へ初市に行くに際して付けたアンカ（俗稱猫火鉢）の火の不始末である

誰が棄てたか？
鐵道官舍の塵箱に
可愛い女ッ子

二日市の騒ぎの際に可哀さうに棄子があつた──氷雨のシト／＼と降りしきる今曉四時頃、平町三丁目グリルパッカス方コック大和田堯男君が自轉車で白銀町鐵道官舍裏を通行中同官舍機關手有坂銀治氏方の前にあつたゴミ箱の中から火のつくやうな赤子の泣聲がするので蓋を開けて見ると生れたばかりの可愛い赤子が入つてゐたので吃驚、平署に屆け出た

生後四、五十日を經た發育良好の女の子で一見中流產のものらしいが書き添へ等がないので判明せず

犯人の搜査に平署では直に非常線をはり大体仙台方面のものではないかと目星をつけてゐる、赤子は同署の温い計らひにより目下おつぱいを頂戴しながら保護されてゐるが、その着衣は左の如く、袖無し、ズキン、涎かけは新しいものである

△サラシの下着　△ウコンと赤の胴着△ニコ／＼赤模樣の綿入れ△ナフトルボタン花模樣の綿入れ△人絹袖無し△メリンス花模樣の夜着△白毛糸のズキン△ガーゼ涎かけ

十三日（小名濱測候所發表）
滿潮　前五、四五　後五、二五
干潮　前一一、三五　後—

落。磐。

好間村古河炭礦運搬夫山越義雄（二〇）君は八日午後五時頃同礦新斜坑内で作業中落磐死

壯圖に躍る
憧れはパイロット！
郡下の海軍兵志願者中
航空兵が斷然首位

來る十八日から平第三小學校で行はれる郡下海軍志願兵檢查の受驗者は目下合計二百四十九名で割當超過九名に上り他郡に比し頗る良好な成績を示してゐるが、その志願別左の如く航空兵、水兵が斷然多い、尚縣下の志願者は逐年減少し今年も未だ割當人員に足りぬ事二百三十餘名であるが、その原因は郡市農村の青少年が生活の安定を得るために各種工場の職工となり或は滿洲移民其他獨立自營海外に雄飛する者が激增したためであるといふ

（航空兵）豫科練習兵七五名　偵察練習生一二名　其他航空兵三名　（水兵）掌電信兵六一名　其他水兵三八名　（機關兵）四七名　（軍樂兵）三名　（看護兵）四名　（主計兵）六名

六千名の行進隊
平町の建國祭賑ふ

平町の建國祭は午前十時半から平第一小學校庭に中小學生、各種團体約六千名列席の下に擧式後團体代表が縣社子鍬倉神社を參拜、終つて長蛇の如き團体は既報の道順によつて『愛國行進』をなし正午町役場前で解散高らかに唱はれた萬歲の聲は遠くまでこだまして行つた、縣社子鍬倉神社で青沼町長の朗讀した祈願文左の如し

祈願文
昭和十二年建國祭平町司會者從五位勳五等青沼銚太郎謹み敬ひ畏みて縣社子鍬倉神社の大前に白す我が大日本帝國の比年隆々たる發展と實力とは列國の齋しく驚嘆する處にして我等一億國民の責務亦從つて重きを加へつゝあるを疑はす、我等は謹みて皇祖皇宗の遺訓を恪遵し今上陛下の聖旨を奉戴し億兆一心を以て國体の精華を六合に光被せしめ建國の理想を八紘に宣揚せむことを冀ふや太た切なり
茲に建國祭を擧行するに際し畏みて縣社子鍬倉神社の大前に拜跪伏奏して聖鑑神助を垂れ給はんことを祈願し奉る

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目
高島易斷總本部　神誠館

新二月十三日　土曜
舊一月三日
辛未　先負　執　女宿

▲一白　氣ないらたてゝ益々身の謗りを生ずる險惡日▲二黑　不如意なかこたす定策に勉むれば次第に發展▲三碧　一氣に非な企て雄飛せんとして大失策あり▲四綠　吉なるに心ゆるして追ゝと窮迫に陷るべし▲五黃　安心に過ぎて緊張をかき首尾全からざる日▲六白　重荷を負ふとも急がず進めば遠路も難無し▲七赤　き辯をろうせず眞面目に人との交りを結び吉▲八白　希望計畫を捨てそ業に勵まるゝが安全の道▲九紫　勢力絕りんにして大望なも逹し得べき幸運日

廣告

おでんで茶めし
小鳥で一平（イッパイ）
電話二六三番

松村醫院
院長　松村鐵郎
平町南町電一〇七

六丁目
本村外科醫院
電話三〇九番

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

昨夜出火の際は早速御馳付け消火に御盡力被成下難有奉深謝候一々拜趨御厚禮可申上筈の處混雜中不取敢以紙上御挨拶迄如斯に御座候　敬具
二月十二日
山田文一
内藤七郎

謝近火御見舞
福島新聞平通信部
山田盤磨

近火御見舞御禮
讀賣新聞平通信部
坂本浩

今次類燒に際しては深更且つ降雨中避難上千萬御加勢を辱ふし感激に堪へません、不取敢乍失禮以紙上御厚禮申述べます
二月十二日
大和田印刷所
磐城實業社
大和田與兵衞
（假營業所　南町增田醫院前角）

謝近火御見舞
十五丁目一番地　高瀬子之吉
仲町　大嶺庫
仲町　上坂賢次
建具屋　山崎喜三郎
熊　謙次郎
安藤木炭商店　電話六九四番
明治生命保險平事務所　小野勝康

コデス
百日咳、氣管支カタル、寒冒、肺炎、急性及慢性氣管支カタル、
小供の咳に甘くて飲よい
平町田町
阿部藥舖

生徒募集
文部大臣認可
平陽女學校
平町　電話四四五番
一、本科一年（二ヶ年卒業）五十名
一、技藝科一年（二ヶ年卒業）五十名
一、專攻科（一ヶ年卒業）二十名
一、各科二年（補缺入學）若干名
一、科外生　1洋裁科若干名　2タイピスト養成科若干名
一、入學願書提出　三月三十一日迄
一、新學期開始　四月一日ヨリ
一、學則入學案内書御申込により差上げます